



## 山梨YMCA会館に思う

山梨YMCA評議員会 会長 田中司郎

山梨YMCAにおける70余年の歴史の中で、幾度の改革がありました。ここ2、3年の道路拡幅に伴う将来計画について議論がなされていますが、今までで最も大きな難関の一つになるかもしれません。というのも、ご承知の通り約三分の一が道路拡幅の為、土地を没収されるだけでなく、建物も建て替えとなります。県から補償金が出るのですが、山梨YMCAは継続して行かねばなりません。この際、敷地の広い山梨県ということを考えますと、甲府市南方にて千坪から二千坪くらいの土地を探して、自動車時代に備えて心配のない広さを考えてはどうか、とも思います。教会もあり、プールもある、日本のYMCAを代表する様な施設を備えたYMCAであって欲しいと願います。

私は常々モットーと言うほどではありませんが、ローマの信徒への手紙第5章にある「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」というみ言葉を思う一人です。今まで培われた歴史を思うと永く続けねばなりません。どうなるかは解りませんが、YMCAのために頑張らねばなりません。皆様どうぞご協力をお願い申し上げます。

さて、今年も小瀬の陸上競技場で予定されている山梨YMCAチャリティーランは、記念すべき20回目を迎えようとしています。常連の参加チームも増えて、会場は県営の小瀬のグラウンドということですから定着してまいりました。山梨の地域が障がいのある子どもたちが生きていく上で、暮らしやすい環境になりますように、と願って始まったイベントです。これからも永く続くことが期待され、またそうありたいと心から願います。6月10日は皆さんで小瀬に参集いただき、共に会を盛り上げていただきたいものです。

## すべてのものを一つに“FOR ALL”という考え方

山梨YMCA 総主事 露木淳司



YMCA FOR ALLとは新約聖書の17章21節に示された基本原則であり、いわゆる地域共生社会の実現を目指しています。イエスさまの愛と奉仕の生き方に学び、救いを求めている人に寄り添い、手を差し伸べる活動を事業化していくことがYMCAに課された使命です。少

子高齢化、人口減少、さらに晩婚、非婚、離婚率の増加により、日本の世帯人数は減少傾向が止まらず、現在は一世帯平均2.5人といわれています。このことにより、子供たちのコミュニケーション能力は低下し、高齢者を知らずに育つ子どもにお年寄りを思いやる気持ちや態度が育まれることはなく、自分もいずれそうなるということが理解できません。一方、障がい児を身近に知ることのない子どもは、必要以上に怖がったり、気持ち悪がったりします。そのまま中高生になり、大人になっても同様な対応しかできなくなります。結果として、ネットやスマホに依存した自分本位の殺伐とした地域社会が生まれるのです。また、老々介護、独居状態の高齢者にとって日常生活は、ただ人生の終わりを待つみの寂しい毎日の場合が少なくありません。彼らにとって、幼な子はそこにいてくれるだけで癒される存在です。生きる喜びを実感させてくれる何よりの心のくすりになるのです。

YMCAはそのように家庭ではもはや解決できなくなっている課題に向き合い、お互いが存在を認め合い、ふれ合い、助け合えるケアコミュニティづくりを夢見ています。身内でなくてもお年寄りや障がい者を見たら、声を掛けることができる。また、支援を必要としている人たちが気兼ねなく「助けて」と声を上げることができる。元気に、自信を持って暮らしていける。そんな環境づくりが必要です。より良いコミュニティが誕生したときに、そこにYMCAがあってよかった、と皆から認めてもらえるようなYMCAになりたいと思います。2021年、東京オリンピックの翌年75周年を迎えます。現在の会館が道路拡幅工事で取壊され新会館に移るとき、このことをYMCA主導で現実のものにしたいと願っています。

## ぶどうの木から

岡島デイサービスセンター ぶどうの木 管理者 小野興子

山梨YMCAには、幼児や小学生が集う「青少年センター」と、高齢者や病気の方が集う「岡島デイサービスセンターぶどうの木」があります。岡島デパートの隣の甲斐物産ビルにある「ぶどうの木」では、毎日十数人の方がつぼみグループやプライムタイムの皆さんと同じように、楽しい集いの時を過ごしてくださっています。昨年

12月のクリスマス会には、つぼみグループの皆さんが特別出演してくださいました。お年寄りが皆笑顔となり、うれし涙で目を潤ませたりと、楽しい一日を過ごすことができました。いつもは、別々の建物でそれぞれに過ごしていますが、時には「つぼみ」や「プライム」のお子様方が「ぶどうの木」を訪ねて下さり、共に楽しい時を過ごせるプログラムを持ちたいと願っています。よろしくどうぞ。



# わいわいTOPICS 冬の思い出

## 冬休みわいわい地球塾&スキーキャンプ

冬のわいわい地球塾も大盛況でした。合計 8 プログラムに述べ 68 名の子ども達が参加しました。「JALの工場見学」は特に人気のプログラムで早々と定員に達する状況でした。普段では決して近づくことが出来ない距離で最新鋭のボーイング 787 の機体を目の当たりにした参加メンバーは興奮気味で見学をしていました。

スキーキャンプには 29 名の子ども達が参加しました。初めてスキーをするメンバーも多く、初日こそ上手いかないことが多かったものの最終日までにはすべてのメンバーがリフトに乗り、頂上から滑走することが出来るほど上達しました。また夜にはゲームをやったり歌を歌ったり、楽しい時間を過ごしました。



## プライムタイム

甲府市委託の放課後児童クラブと合同に行っているプライムタイムは、子供ひとりひとりが「自ら創り出す放課後」を心がけ、日々過ごしております。子供に大切な五感を使った遊びは、やはり野外(公園)での活動が欠かせません。そのため、公園の隣接された南西のぞみの家へ多くの子供達が利用し活動できるようにしました。冬休み特別プライムでは、リコーダー・オカリナ作り、万華鏡作り、電流ドキドキゲーム作りを行い、個性あふれる作品となりました。ご寄付頂いた杵と臼を使い、餅つきも行いました。毎年の恒例行事したいと思います。2月3日の節分では、大神松祭のイベントに参加し、皆で書き初めや鬼と握手し帰ってきました。



## サッカー教室

2016年より始めたサッカー教室も早いもので1年が経とうとしています。参加メンバーも日を追うごとに各々が成長して、入会当時では出来なかった技術も練習の成果で習得して試合でも生かせるようになりました。また技術面以外でも上級生が下級生の練習をサポートして細かな習得方法を教えたり、くじけそうな下級生を励ましたりと助け合う場面もあり温まる機会が多くあります。2017年度からYMCAの体育館以外に県立青少年センターのグラウンドで練習する予定です。桜が咲く頃には新しいメンバーを加えて、より一層に成長することを期待します。



## つぼみグループ

3学期が始まり寒さ厳しくなっても、みんな元気！ハナタレさんは



多いけれどもお休みすることもなく登園しています。最近の遊びは「アンパンマンかるた」と「はらぺこあおむしの絵合わせカード」。だれが一番多くとったかなと競争です。4月からはそれぞれ違う幼稚園ですが、また新しいお友達をたくさん作ってください。つぼみぐるーぷでは2017年度生の募集(平成26年4月2日より平成27年4月1日までに生まれた男女児)をしています。途中入園も可能です。お知り合いの方で対象のお子様がいいらっしゃいましたらぜひご紹介下さい。

# ぽかぽか教室&きらきら教室

毎日であったかく輝いたものにするために！

きらきら教室では、「ことばが遅い」「お友だちとうまくコミュニケーションがとれない。」「気持ちの切り替えが難しい。」「落ち着きがない。」「運動がぎこちない」「手先が不器用」など、成長に支援を必要とする子供たちの療育を行う教室です。ひとりひとりの子どもたちが自分の上手にできること、自分だけではできなくても人にお手伝いしてもらえればできることを知るために、それぞれのペースで生活し、遊びを楽しみ、課題に取り組めるように個別の療育、小集団グループ療育等様々なプログラムを行います。

学習の苦手なお子さんに合わせて学習支援を、運動専門スタッフによる運動プログラムを、音楽専門スタッフによる音楽プログラムを、書道専門スタッフによる書道プログラムを、小集団コミュニケーショントレーニング等個々での課題、特徴に合った支援を各専門スタッフが行います。また「子どもとうまく関われない。」「子どもの成長・発達が心配」など保護者の悩み・不安相談スペースや親子療育の機会も設けます。2月より県の認可を受け、お子さんはもちろんの事、保護者の方にも“ぽかぽか”した気持ちで“きらきら”した毎日が送れるよう、サポート致します。

## 児童発達支援 ぽかぽか教室

利用対象：幼児

一人ひとりの発達に合わせた療育プログラムを行うと共に、集団遊びや体験活動を通してコミュニケーションスキルを高める支援を行います。

個別課題においては社会性、言語、身辺自立、認知、運動の発達援助を行います。

9:00 始まりの会

9:10 個別または集団での  
課題や遊び

11:20 終わりの会

11:30 ご家庭または希望の場所に送ります

## 放課後等児童デイサービス きらきら教室

利用対象：小学生

放課後と長期休業中の平日は、小学生を対象に自由遊びや集団遊び、体験活動を通したコミュニケーションスキルを高める療育プログラムを行います。

個別課題は、学習、言語、運動、心理、社会、生活の分野で、スキルアップできることで、本人の自尊心が高まり、本人とご家族が暮らしやすくなるような課題設定をします。

長期休暇中は、野外活動や体験活動を取り入れ、生活経験の幅を広げたり、余暇が楽しめるようにサポートします。

13:30 各学校にお迎え

14:00 来所 自由遊び

14:30 個別または集団での課題や遊び

15:30 おやつ・自由遊び

17:20 終わりの会

17:30 ご家庭または希望場所まで送ります



ぽかぽかのポカと、きらきらのキラを  
合わせて、ポッキーラです♪  
帽子がぽかぽか太陽、目はきらきら♪  
みんな遊びに来てね。



ポッキーラ